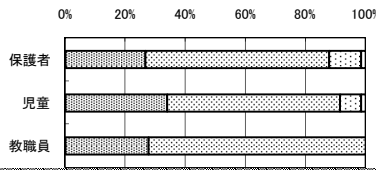


□4-そう思う □3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

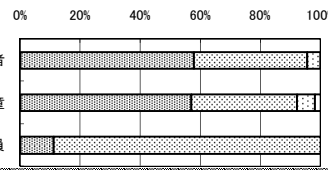
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



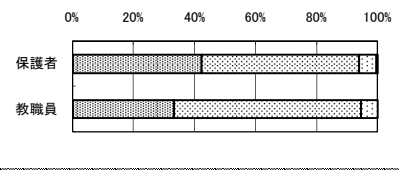
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

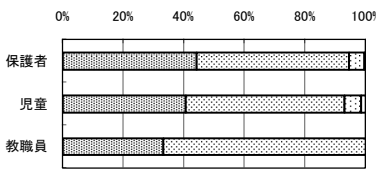


【学校から】「教育方針・目標の理解」は、昨年と比べて全体的に向上している。学校便り等を通じて理解が深まってきていると思われる。「意欲的な学校生活」については、9割以上の児童が「楽しい学校生活」が送れていると感じている。一方、1割弱の児童が「楽しくない」と感じており、個別に教育相談等を実施し、対応していく必要がある。「教師の連携協力」は、昨年より向上してきており、学校が校長を中心にして組織的に機能し、職員間での報告・連絡・相談ができてきている。今後も、学校内での課題等について職員が一体となって対応策を練り、児童の健全育成に努めていかなければならない。

教科指導

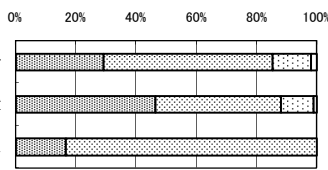
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

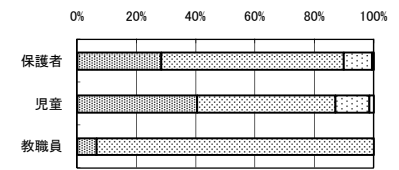


【学校から】校内研修では、昨年度に引き続き、算数の授業改善を中心に研究を進めている。授業づくりの工夫について、改善の視点や方法について、教職員の意識や技術が高まり、授業に生かされていると思われる。子どもの授業態度については、あまり意欲的でないと感じている保護者や児童がいることに対して、さらに個に応じた支援を工夫していく必要がある。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

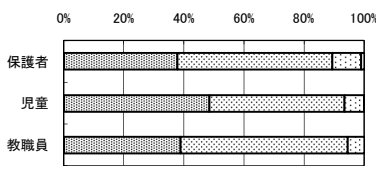


【学校から】各学年ごとに、年間計画に沿って実施されている。しかし、移行措置により時数が大幅に削減され、さらに調べ学習的な活動に終始しその発表の場などが確保されていないのが現状である。

道徳教育 心の教育

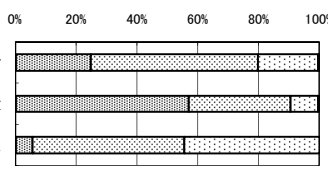
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

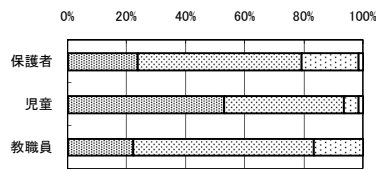


【学校から】道徳の年間計画に沿って実施してきた。また、人権週間・集会や性教育の授業を通して、さまざまな心の教育を行っている。〇市教育委員会が推進している11月の「心かがやけ」月間では、兄弟学級ごとに「朝の挨拶運動」に取り組んだ。また、体験を通しての作文発表や学校全体での「ゆげっこ運動」にも取り組みを広げている。さらに、年間を通して家庭・地域の方々、委員会の子どもたち、ボランティアなどにより挨拶運動に取り組んでいる。〇今年も9月の授業参観では学校全体で道徳の公開授業を実施した。保護者からの手紙や授業後の感想など家庭と連携しながら実践することができた。また、行事や教科との関連・体験を通じた授業実践が増え、児童と教師の意識が上がっている。今後も家庭・地域との連携をとりながら進めていきたい。

人権教育

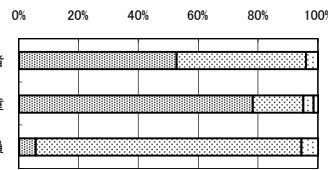
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

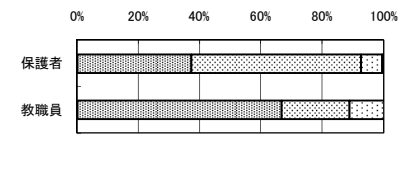


【学校から】一人一人の子どもを理解し、個に応じた指導ができるように、定期的に全職員での話し合いを持ち、共通理解をした上で支援体制をとっている。クラスや学年の枠を越え、全職員で全児童を見ていこうという気持ちで子どもたちに声をかけている。また、保護者と連携して指導できるように心がけた。友だちへの思いやりに関しては、相手の立場にたったあたたかな言動がとれるように、またその上で、自分の思いはきちんと伝えられるように、日々の生活の中で、その場その場での実践をひとつひとつ積み上げていきたい。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

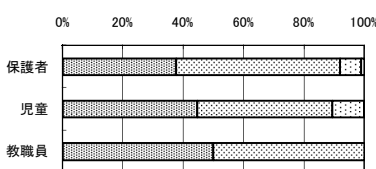


【学校から】児童理解・支援のために定期的に全職員で話し合ったり、支援委員会を開いたりしてきた。また、支援が必要な児童には個に応じた支援を行った。保護者への特別支援教育理解のために就学時健診で専門家の講話を実施し、新入児保護者説明会では学校からも話をした。

生徒指導 教育相談

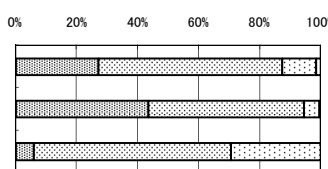
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



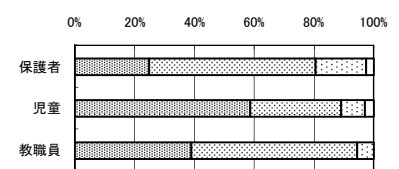
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

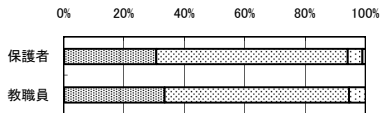


【学校から】学校は児童理解に努め、いじめや問題行動へも対応しているという評価が増加している。一方で、学校の対応についての厳しい評価もあり、より迅速な対応を求める保護者・児童の声として真摯に受け止める必要がある。今後も、これまで同様に日々の教育活動の中での児童理解に一層努め、担任による対応のみならず諸部会での組織的対応など、ケースに応じて臨機応変に対策を講じる必要がある。生徒理解や規範意識については、児童と教職員の認識のずれが大きい。児童の声を聞く機会や生活を振り返る場を増やし、実態把握に努めるとともに具体的な指導を心がける。

## 健康教育 安全

### 15 安全と事故防止

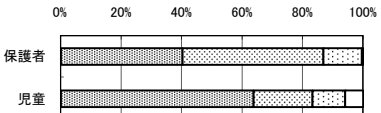
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



【学校から】本年度は、体力テストの結果を受け、投げた力を伸ばす運動遊びを奨励してきた。休み時間に運動場に出て外遊びをする児童の数は全体的に増加傾向にある。しかし、運動に積極的に親しむ子どもとそうでない子どもの二極化傾向がある。子どもの日常遊びにつながるような授業の工夫・環境の整備が必要であると感じる。校内での事故、特に遊具施設による事故やけがは昨年と比べ減っている。また、交通事故による大きなけがも見られなかった。安全教育については今後も指導を徹底していき、事故防止に努めたい。

### 16 体力向上

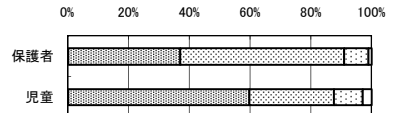
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

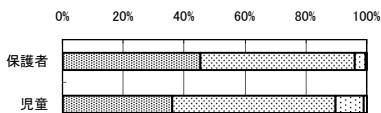


【学校から】前年度とほぼ同様な結果である。「学校行事に少し工夫がなされている」と答えた人の割合が、保護者と職員で約1割増えている。2学期、新型インフルエンザの流行で学習発表会を一緒に実施することができなかったが全学年とも表現力の高まりが感じられた。

## 学校環境

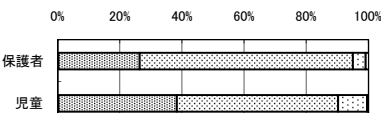
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

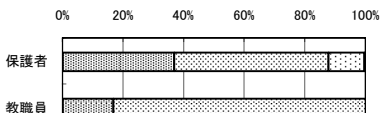


【学校から】○学校園、学級園には、季節の花を欠かさないようにしている。しかし、時間の確保が難しく手入れの行き届かないところもある。種まきから花を育てることや、苗を購入しての植え替えなど工夫をしている。弓削っ子活動などを通して子どもたちの植物に関する意識は高まってきている。しかし去年のデータと比べると保護者の評価は上がっているが、子どもと教職員の評価は下がっている。さらに工夫をした活動をしていく必要がある。○施設・設備の安全管理については、子どもと教職員で去年に比べ評価が下がっている。安全管理については、点検は定期的に行っているが、さらなる実態に基づいた点検を実施し、学校の安全・万全な環境づくりを進めていく

## 情報の公開・発信

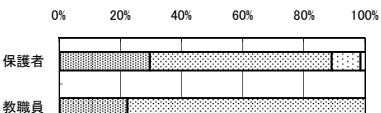
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

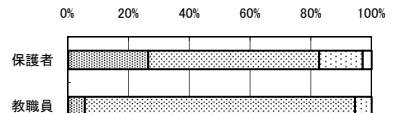


【学校から】○校長からの学校便りが頻繁に出され、保護者だけでなくコミュニティーセンターや地域の方々にも配布されている。また、各学級や学年からも定期的に通信が出されるなど昨年同様の取り組みがなされている。昨年と比べると、評価は変わっていない。学校からの情報発信の仕方について、これまでの取り組みを続けながら、さらに新たな方法（ホームページ等の利用）を工夫し発信していく必要がある

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

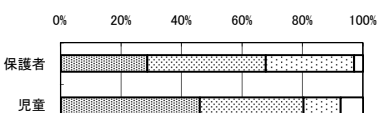


【学校から】○全体的にできているが、保護者と教職員の認識にやがずれがある。今後は、さらに保護者・地域参加型の教育活動を積極的に進めることで、連携強化を図っていきたい。

## (学校独自)

### 23 読書活動の推進

子どもが、本（教科書以外）をよく読むように指導していますか。

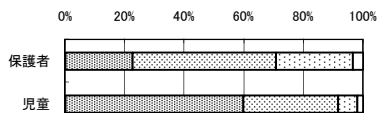


【学校から】昨年度に比べると本を読んでいるという児童が少し増えているが、全体では貸し出し冊数も伸びて読書に親しんでいる児童は増えている。今後も読書の時間の確保に努めたり、家庭とも連携をとりながら読書指導に力を入れていき

## (学校独自)

### 24 歯磨きの習慣化

子どもは、進んで歯磨きをしていますか。

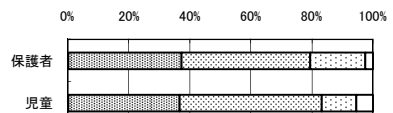


【学校から】保護者の評価が低いことから、家庭での歯磨き状況が良くないと考えられる。また、給食後の歯磨きの習慣化ができていない児童もいる。「食べたらみがく」の習慣化を染め出し等を行うことで、家庭と協力しながら根気よく意識づけをしていきたい。

## (学校独自)

### 25 早寝、早起き、朝ごはん

子どもは、「早寝、早起き、朝ごはん」ができていますか。



【学校から】望ましい生活リズム習慣確立のために、生活リズムチェックを実施しているが、朝ごはんを欠食する児童が数名、就寝時間が遅い傾向の児童は高学年になるほど多い。今後も定期的な生活リズムチェックを実施して、家庭と連携して取り組んでいきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 学習指導においては、昨年度から取り組んできた算数の研究成果を生かしながら、楽しくてわかりやすい授業づくりを目指し、一人一人の学力向上に努める。国語・算数を中心に基礎・基本の習得を図るとともに、読書習慣を定着させたい。来年度は、市教育委員会の研究委嘱を受けているので、特別支援教育の視点に立った授業づくり、環境づくりを通して学力の充実に努めていきたい。
- 生活面では、あいさつ・靴ならべ・廊下歩行などの基本的な生活習慣を整えることに重点をおいて取り組み、学校全体として少しずつよくなってきている。児童の規範意識を高め、節度ある集団生活ができるように、職員間で共通実践を行っていききたい。
- 学校行事や授業公開、学校保健委員会などを家庭・地域にも呼びかけ、さらに内容的に充実したものにしていきたい。
- 今年度は、環境ISO活動への積極的な取り組みで、県教育委員会から優秀賞の表彰を受けた。資源の有効利用という点からも成果が見られた。今後も身近なところからできるエコ活動を充実させていきたい。

## 学校関係者評価

- 「歯磨きの習慣化」「早寝、早起き、朝ごはん」の結果が良くない。本来、家庭の生活に関わることであり、健康づくりの基盤として、保護者への指導、意識付けを図っていく必要がある。
- 学習面で、理解、定着の二極化、格差が心配される。学校では、学習面で困り感を持っている児童の実態把握に努めるとともに、特別支援教育の視点に立った学習づくりに努めていきたい。学習面で理解に時間を要する子どもと、理解の速い子どもへの対応をどのようにしていくか。このことは、今後の検討課題であり、効果的な学習のあり方を模索していく必要がある。
- 「あいさつ、礼儀の励行」では、教職員の評価が厳しい結果となっている。地域では、子どもたちはよくあいさつをしていると思う。教職員の評価が厳しいのは、目標を高く持っているためではないかと考えられる。誰に対して「進んで」自然にあいさつができるように指導をしていただきたい。
- 地域の方々をゲストティーチャーとして招き、学習の支援をしていただいたり、民生委員さんや地域の方々等に授業参観や学校行事へ参加していただいたりと、開かれた学校づくりが進められていて望ましい状況である。さらに地域の人材を活用して、子どもたちとの交流を深めてほしい。
- 特別支援教育の視点から、発達障害や何らかの困り感をもっている児童への対応や支援について、保護者に理解を深めてもらえるように、啓発を進めていただきたい。